



北海道肉牛共進会にて 新ETシステム産子も活躍

本年9月14～15日、安平町にて北海道肉牛共進会が開催されました。新ETシステムや場内移植、凍結卵移植など、様々な全農ET研究所由来受精卵産子が活躍しておりましたので、ご紹介させていただきます。



写真は、JA十勝高島の神田博文さんより出品された2頭です。

第5部1等1席を獲得した牛(写真:左側)。父は百合茂、母はやすみ(安平×隆桜)。平成23年2月4日、新ETシステムを利用して移植し、本牛が生まれてきました。受卵牛は平成16年生まれの黒毛和種経産牛でした。神田さんにお話をうかがうと、本牛ともう1頭第5部に出品する牛を迷われたそうですが、調教する意味を込めて本牛を出品することに決めたそうです。

第3部2等1席を獲得した牛(写真:右側)。父は勝忠平、母はふじ34(福之国×安平)。平成23年9月29日、全農ET研究所場内にて新鮮卵移植が行われ、その後妊娠牛として購入し、本牛が生まれてきました。



こちらの写真はJA広尾町 佐藤哲也さん出品の牛で、未經産最高位賞を獲得した牛(名号:たらちね465)。父は勝忠平、母はなつこ(福之国×安平)。豊西家畜診療所さんに凍結卵として購入していただき、平成24年4月2日に生まれました。

今回の入賞は、ご家族・従業員の方々が日々、努力された賜物だと思われます。まことに
おめでとうございます。

これからも受精卵産子が好成績を得られるような受精卵を供給できますよう、努めてまいります。

文責；全農ET研究所 波山